

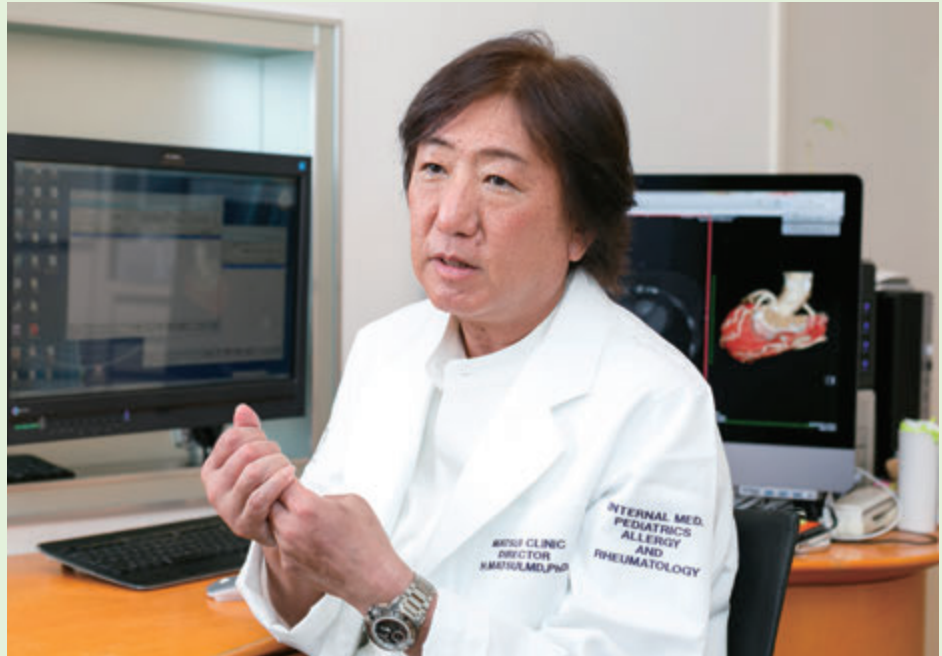
患者さんからの声

◆人気のある先生なので診療まで待つこともあります、ちゃんと治してくれるので、ここに来るのが一番の早道だと思っています。

◆非常に早期のがんを見つけていただき、事なきを得ました。大学病院の教授も「よく見つけてもらえましたね。幸運です」と言っていました。

◆ここに来るまで3箇所の病院を回りました。全然良くならなかった症状がここに来て一発で治りました。これまでの受診は一体何だったのだろう。

◆どこに行ってもわからなかった不調の原因がここに来て判明。かなり珍しい病気だったようで、紹介していた先の専門の先生も驚いていました。



広い守備範囲と高い専門性で 地域医療を支える総合内科専門医



院長 日本内科学会認定総合内科専門医
松井 秀樹先生

【まつい・ひでき】東京都出身。聖マリアンナ医科大学を首席で卒業後、同大学病院第一内科学教室に入局。同大学大学院卒業後はリウマチ・膠原病・アレルギー内科等で豊富な臨床経験を積む。平成8年4月に同大学講師に就任、現在も非常勤講師を務めている。同年7月に開業。◆日本リウマチ学会認定リウマチ専門医 ◆日本アレルギー学会認定アレルギー専門医

一般内科をはじめ、呼吸器、循環器、血液、腎臓、神経等々、あらゆる領域の診療に精通している松井先生。患者さんのために全力を尽くす。

当院では大学病院レベルの検査・診断・治療を提供すべく、最先端の医療機器を導入しています。年間600件以上行っている内視鏡検査では直径が8.7mmと極細かつ高精度のスーパードット内視鏡を採用しています。鎮静剤や経鼻内視鏡を使った検査も選択可能で、苦痛を感じるのは殆どありません。

また、ホルター心電図は世界最小・最軽量クラスのものを使用しています。防水なので入浴も可能です。30秒で心電図データの取り込みから解析まで行えるシステムも備えているため、お待たせせずに診断できます。

内視鏡や心電図をはじめ、CT、MRI、超音波などの画像はすべて一括管理されており、患者さんからも「検査結果が分かりやすい」と好評です。

2018年には検査用ラベルプリンタも刷新しました。検査情報を自動でラベル印字するシステムは以前から導入していましたが、よりペーパーレスで効率的になりました。こうした効率化によって患者さんと接する時間をより密にし、待ち時間の削減にもつなげています。

また、当院では院内処方を行っているため、よその薬局までいかずともお薬を受け取って

ただけです。薬剤も私が責任を持って揃えているものであり、体質や生活スタイルなども踏まえ、患者さん一人ひとりに適したものを処方しています。

リウマチやアレルギーの専門的な診療を実施

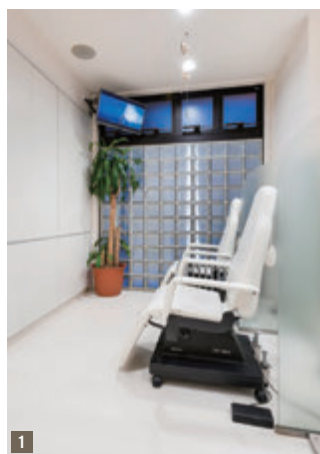
当院では一般内科をはじめ幅広い領域の診療を行っています。なかでも生物学的製剤を用いた関節リウマチ治療は地域のクリニックのなかで最も多く実践しています。当院だけで、これまで200名ほどの方に生物学的製剤の治療を行ってきました。生物学的製剤はサイトカイン阻害薬など10種類が認可されており、これらによって患者さんのQOLを飛躍的に改善できるようになっています。

リウマチは症状や合併症、年齢、通院可能回数、そのときの活動性などを考慮して一人ひとりにオーダーメイドの治療をしていくことが大切です。肺や心臓、腎臓、皮膚、神経などに症状が出たり骨粗鬆症に罹りやすくなったりもしますし、薬の副作用による胃潰瘍や肝臓や腎臓、肺への障害などにも注意が必要です。各種薬剤を上手く使いこなしながら同時に全身管理にも気を配り、患者さんの10年後、20年後、30年後と先を見据えたリウマチ診療を行っていきたいと考えています。

また、当院では大学病院と連携した乾癬の生物学的製剤治療、

チーム医療で最高の医療サービスを提供 患者さんとの信頼関係を築く

専門性の高い検査や治療を提供するため、最新の機器を揃えるクリニック。ドクター・看護師・受付スタッフの全員がチームとなって最高の医療サービスを目指している。



- 1 時間のかかる点滴投薬の間もリラックスした状態でいられるようソファやTVモニターを設置。
- 2 高性能・高画質になった最新型超音波画像診断装置。
- 3 直径8.7mmの経口内視鏡と5.9mmの経鼻内視鏡。極細だが画質は一段と向上した。
- 4 自宅で24時間測定できる超小型のホルター心電図。
- 5 開業から21年経つが、常に設備面を刷新。昨年は院内すべてのエアコンを入れ替えた。

TOPICS

関節リウマチ治療の新薬も導入 選択肢の幅が格段に広がった

生物学的製剤と同等の作用を持つ内服薬であるゼルヤンツとオルミエントも取り扱っている。継続して服用することで身体の免疫異常に働きかけ、関節リウマチの症状を改善する。生物学的製剤で十分な効果が得られない場合の選択肢として有効だが、生物学的製剤と同等の副作用リスクもある。患者さんの健康状態などによっても副作用の出方が変わるため、定期的な受診や検査が必須であり、生物学的製剤に精通した専門医の管理下で治療を進めていくことが重要だ。

ベテランの知見を活かし 地域医療に貢献

私は医師家系の家に育ったこともあり、小学生の頃から一貫して医師か歯科医師になろうと思っていました。医学部を首席で卒業したあとは、大学病院の

アレルギーの舌下免疫療法、ハチアレルギーや食物アレルギー、薬物アレルギーに対して用いるエピネフリン自己注射薬（エピペン。）の処方なども行っています。エピネフリン自己注射薬は保険適用となるため、3割負担の方であれば3000円程度で処方を受けられます。

内科、内視鏡室、放射線科、透視室、救命救急センター、難病治療研究センターなど多くの診療科で学びました。

内科全般を受け持っていたこともあり、総合内科専門医、リウマチ専門医、アレルギー専門医、産業医、身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）など多くの専門医資格を持っています。学会や研修会には頻繁に参加して最新の医学知識を得ているので、今でも医師国家試験は8割以上正解できますよ（笑）。

医師歴はかれこれ33年になりますね。小児科からずっと診ていた女の子が母親になって子ど

もを連れて来るなど、家族ぐるみで来院してくださる患者さんが多いです。また、遠方から来られる方もおり、住所を見てびっくりすることも多々あります。心がけているのは患者さんとの信頼関係をしっかりと築くことです。診療とは全身を診ることであり、些細な兆候や訴えもきちんと拾い上げて診ていくことが大事です。そこで高度な医療が必要と判断するならば、すぐに基幹病院に紹介状を書き、手配しています。病診連携は20年以上行っているため、患者さんごとに最も相応しい医療機関や医師を紹介できます。

クリニック以外の活動としては、医学部学生や研修医の教育・指導、また医師や看護師向けの講演会の演者・座長を務めたりしています。休みはほぼないですが、自分の仕事が少しでも人々の役に立てば幸いです。



松井クリニック

☎0422-20-1001

武蔵野市吉祥寺東町2-17-27
<http://www.matsui-clinic.org/>